

農林水産業の活性化に 女性の思い

岩船郡市農山漁村女性交流会



関川村の3人が意見を発表した交流会

十一月十一日、農林水産業の振興に女性の感性を生かそうと「岩船郡市農山漁村女性交流会」が、村民会館アリーナで開催されました。これは、JAにいがた岩船女性部や県などが毎年主催しているもので、岩船郡村上市在住の女性や関係者など約二百人が参加しました。交流会は「TUTAEERU（伝える）私の思い、あなたの思い、みんなの思い」をテーマに、近良平さん（大島）、富樫幸子さん（上関）、川崎パトリシアさん（鮎谷）の三人が、農業経営や自らの取り

組み、村おこしについて意見を発表。そのほか、講演や意見交換などが行われ、これからの農林水産業について熱く語り合われました。



「久しぶりだねんし」

東京で村人会総会

11月15日、首都圏在住関川村人会の第28回総会が東京上野の「精養軒」で開催され、首都圏在住の村出身会員の皆さん63人が参加しました。総会では、事業報告や決算報告、予算案などを審議・承認。また、交流会では、懐かしい顔を合わせた会員の皆さんが、思い出話に花を咲かせました。

投稿

「命を懸ける」

坂上 進（上関）

久しぶりに感動する講話を聞いた。日本文理の大井監督の講話である。「なぜば成る」という演題だった。

今年の「全国高校野球大会」で、あの見事なプレーで多くの方々が感動した。あの戦いが出来るまでに鍛え上げた監督の思い入れを語ってくれた。要約するところだ。

指導するにあたり「手段」「目標」「目的」を、しっかりと設定し、野球する「手段」

を通し、技術と精神を鍛え、全国大会優勝を「目標」にして、邁進する中で、「思いやる心・助け合える心・苦境を訓練と思える心・高い理念を持って生きてゆける精神」を心身共に会得することを「目的」とし、その目的達成に向かい、「全精力を注ぎ込む中で、お互いの信頼性が深まり、厳しい訓練にも耐えられる精神力と高いレベルの技術力が身に付き、その成果が今回の結果である。しかし、それはあくまでも「目標」であり、目的に向かつての手段でしかない。目的としたものを、しっかりと身に付けてもらうことが、監督としての任務であったと話された。

さに、命を懸けて村人を救ってくれた恩人である。大蔵神社に奉られているが、後世に伝えてゆくために「法師を尊ぶまつり」を関川村の祭りの一つにしたいものだ。

私は、この方こそ理想とする「教師」であり「人格者」だと実感した。伊藤君、若林君、すばらしい監督に出逢えて幸せだったね。「引き受けた以上は、命を懸けてやり通す決心をした」と監督が言われた一言が、今でも頭から離れない。「命懸けでやる」この言葉は強固な決意がなければ言えない言葉だ。当村に伝説となつて崇められている琵琶法師がいる。ま

今回の衆議院選挙で、民主党政権へと大転換した。政権が変われば、当然政策も変わる。「地域主権」「村民主体」の村政となる。「村民による村民のための村民の政治」が今こそ問われる時が来た。村民主体の村づくりをするために「職員」「議員」「村長」そして「村民全員」が、一丸となつて造り上げてゆくことになる。その実現に向け、今回の村長選挙立候補予定者は、村民六千八百人一人ひとりに目を向け、何を必要とし、求めているかをしっかりと見定め、今、何をやるべきか、間違いない決断をし、納得出来るマニフェストを示し、「合同の個人演説会」を必ず実現するよう願う。村民のために命懸けで奉仕する「平成の琵琶法師」として、信頼され尊敬される「尊長(村長)」を選ぶために、一票の重みを自覚し、投票しようと思う。